

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館だより

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin

No. 43
2024.Oct.

表紙作品 『野球を快適にするプロダクトの提案』

吉村 允良 (2022年 専攻科造形専攻修了)

作者自身の野球経験と観察を踏まえて提案した野球用バッグです。
必要な荷物を効率的に収納できるとともに、上から座ることもできます。

Contents

- ① 先生おすすめの一冊
- ② 先生おすすめのディスク
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ AV視聴コーナーに行ってみよう♪

先生おすすめの一冊



美術科

飯田 菜津美 先生

『秘密の知識：巨匠も用いた知られざる技術の解明』

デイヴィッド・ホックニー 著；木下哲夫 訳 723/H81

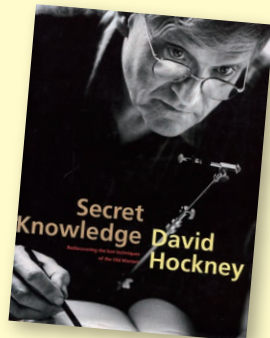
この本ではデイヴィッド・ホックニーが画家の視点からカラヴァッジョ、デューラー、ダ・ヴィンチ、アングルなど西洋の巨匠がいかにして作品制作において鏡やレンズを用いたかを科学的、視覚的に実証した内容が多く、図版を使って示されています。ホックニーは絵画、ドローイング、版画、写真、iPad等様々な媒体で作品を作り続けているイギリスの画家です。昨年に東京都現代美術館で大規模な個展が開催されたので、ご存じの方も多いかもかもしれません。

美術館に行った時、写実的な絵を見て「写真みたいだ」と思った経験はありませんか？現在では写真は当たり前

に普及していますが、カメラがなかった時代の西洋画は人々に情報を伝えたり、出来事を記録したりと、ある種写真の役割を担っていました。当時の写実的な西洋画家たちは写真の前身となる光学機器（鏡やレンズ）を用いて、対象をありのままの形で捉えるための補助的装置として使用していました。しかし、画家たちは光学機器を使って絵を描くことはひた隠しにしていたのです。ホックニーはそれを「秘密の知識」とし、当時の技術を画家の視点から実証しようと試みました。

画集としても面白いので、図書館で見つけたらぜひお手に取ってみてください。

(いいだ なつみ／油彩画)



音楽科

宮添 奈央子 先生

『終止符のない人生』

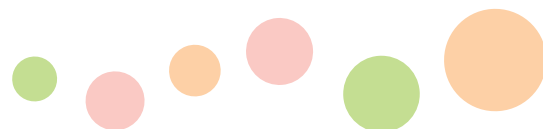
反田恭平 著 762.1/So55

図書館で何を讀もうか迷っていたところ、2021年第18回ショパンコンクールで第2位という快挙を成し遂げ、今や最もコンサートチケットが入手しにくい大活躍のピアニスト反田氏の本を発見して読むことにした。ひとたび読み出すと想像を超える体験談の数々に驚いたが青年反田氏の飾らない率直な文章と、音楽に対する真摯な姿勢とチャレンジしていく様にあつという間にのめり込んでいった。コンクールという過酷な状況での演奏は才能や運もなくてはならないが、強い意志と信念を持ちプレッシャーに打ち勝たねばならない。それはまさに外部ではなく自分との闘いであり、その陰には相当な努力の日々がある。ロシアで

の留学時代、一週間で譜読みし、暗譜に近い状態でレッスンに行く。二週連続で同じ曲を弾いてはいけない。また、氏は常時25曲のピアノコンチェルトが頭に入っていて、譜読みを徹底的に読み込みピアノコンチェルトのピンチヒッターは、コンサートの3日前に頼まれてもステージに立てるとのこと。皆さん、いかがでしょうか。

(みやぞえ なおこ／ピアノ)





国際総合学科
堤 亮介 先生

『マンガでわかる日本の食の危機』

鈴木宣弘 原作監修；マンガデザイナーズラボ マンガ；要三完 作画 611.3/Su96

当時、前職場で行われていた「昆虫産業都市構想」の策定段階において昆虫食なる話題が取り沙汰されており、職員の間でも随分と話題になっていた。メディアにおいても連日、昆虫食の報道がなされ、昆虫関連の企業や研究機関は全国的に増加。昆虫の入った商品の販売や徳島県の高校では食用コオロギの粉末が入った学校給食が提供されるまでに至った。

これは、国連食糧農業機関（FAO）が「今後、世界規模の人口増加に伴い、食料タンパク質の供給不足が懸念されることから、栄養価の高い昆虫食を推奨していこう」という報告書を提出したことに端を発している。だが、わが国で好んで昆虫を食べたいと考える人はなかなかいないだろう。

これは日本の長い歴史において先人達が導き出してきた答えとも言える。

上記の経緯から、報告書のような食料不足が日本で起こり得るのか？我が国は本当に昆虫食が必要なのか？根本的に見直す必要があると考え本書を手にした。しかし、本書を読み進めていくと、日本における「食」自体が、かつてないほど本質的な危機に直面している事が次第に分かっていく。つまり、昆虫食等推奨している場合ではない程の状況に陥っていたのである。

是非、学生の皆さんに日本が直面する食のリアルな課題を知ってもらうとともに、毎日口にする食事に関心をもっていただくきっかけになればと思い本書をお薦めする。

(つつみ りょうすけ／観光学)



情報コミュニケーション学科
綾部 誠 先生

『生成AIで世界はこう変わる』

今井翔太 著 007.3/I43

ここ数年で、AI（人工知能）という言葉がとても身近になってきました。2022年にアメリカで公開されたChat GPTは、全世界で約2億人の人々が利用するまでに急拡大しました（2024年4月時点）。このAIを使うと、こちらから簡単な指示を出すだけで、ネット上に存在する情報を調べて高度な文章を瞬時に書いてくれたり、外国語の会話練習がスムーズにできたりします（基本無料、有料バージョンあり）。また、AIを搭載した新たなアプリケーションも雨後の筍のように開発・リリースされ、いまでは文章だけでなく、プログラミング、計算、作曲、イラスト、写真、映像、音声など、あらゆるものが簡単な指示を

出すだけで容易に生成できる時代になりました。

本書は、そもそも生成AIとは何であるのかということを初心者向けに分かりやすく解説し、AIによって消える仕事・残る仕事、AIによって作り出される生成物の価値や各種権利との関係、これからのAIと共に歩む未来について語られています。学生の皆さんにはAIの特徴を正しく理解してもらうとともに、大転換を迎える未来を予測しながらAIをうまく使いこなし、豊かな人生を歩んでもらいたいと思っています。

(あやべ まこと／地域社会学・国際開発論)





AV視聴コーナーへ 行こう!



美術科

中島 暢美先生 おすすめのディスク

『愛を読むひと』

2014年 (Blu-ray)



第81回アカデミー賞5部門でノミネートされ高い評価を得た。原作ベルンハルト・シュリンク『朗読者』。監督スティーブン・ダルドリー、2008年、アメリカ・ドイツ合作。

1958年ドイツ。15歳のマイケルは21歳年上のハンナと恋に落ち、逢瀬を重ねるうち、ハンナに本を読み聞かせるようになる。マイケルはゲーテやヘミングウェイなど様々な本を朗読し、ハンナはその内容に一喜一憂する。しかし、ある日突然ハンナは姿を消してしまう。8年後、法学専攻の大学生になったマイケルは裁判傍聴の授業で、ナチス戦犯の被告席に座るハンナと再会する。ハンナは

“秘密”を隠し通し、不利な証言も認め無期懲役の判決を受ける。その後、弁護士になったマイケルはハンナに向き合う決意をするが……。

ハンナが死守した“秘密”は文盲だった。ハンナの場合は、脳の障害 (disorder) ではなく、社会的障害 (handicap) によるものだった。ハンナは貧困や迫害のため読み書きという最低限の教育さえ受けていなかった。日本は99%の識字率を誇り、江戸時代から成人男子の識字率は世界トップレベルだったとされるが、近年は若者の読書離れが言われて久しい。知識を得たり、想像力を育むために読書は必要不可欠である。ハンナは知識がなかったために誤った自尊心が先行し、想像力が乏しかったために多数のユダヤ人を見殺しにした事に罪の意識すらなかったのである。

さて、私は物心つく頃から本好きで、家族でディズニー映画を観に行くのが楽しみだった。中学生になったら友人と洋画の恋愛映画を観に行った。高校生の頃は、入場料だけで何本も違う洋画が観られる神戸元町の映画館で1日過ごした。大学生の頃は、映画を観たり、テラス席に座るために早めに登校して図書館で過ごした。所蔵の教育実習教材を全て視聴した時は図書館職員の方々に驚かれた。

今や、電子書籍、映画や音楽の無料アプリがある時代である。でも、無料アプリを使うにはスマホ代がかかる。図書館なら全て無料である。時代が変わっても、安全で清潔な環境で、好きな時に好きなだけ、本を読んだり、映画を観たり、音楽を聴いたりできる学生ならではの恵まれた特権を利用しない手はないだろう。

(なかじま のぶみ／教育心理学)



ナクソス・ミュージック・ライブラリー (NML) を使ってみよう!

NMLはクラシック中心に250万曲以上を自由に聴ける音楽データベースです。図書館のAV視聴コーナーで利用できるほか、自宅のパソコン・スマホからでもサービスが利用できます。

ただし、音源のダウンロードは著作権上の問題によりできません。

詳しい内容は、図書館カウンターでお尋ねください。



学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」(毎年2回実施)を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計89冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。



学生選書ツアーに参加して 情報コミュニケーション学科 1年 有森 由梨花

学生選書ツアーで選んだ本の中には、私が実際に読んでみておすすめしたいと思ったものに加え、本屋で目に留まり、かごに入れてみようと思ったものもあります。現在、本は実際に手に取るだけでなく、デジタル上でも楽しむことができます。デジタル上には無数に本があり、読みたい本がすぐに探せるため便利です。しかし、どれも同じ配置、大きさで並べられているために、私の場合、似たようなものであれば、すべて同じように感じてしまい、ふと手に取りたいと思えるようなものになかなか出会えません。

ところが、本屋で本を選ぶときは違いました。本屋の

中の本という制限がある上、本の並べ方などにも工夫がされているため、この本に手を伸ばしてみたいと思うことが何度もありました。その場で気になる本を見つけるということは、学生選書ツアーに参加したからできた体験であると考えています。

また、意見交換会は、普段、本について話す機会がない私にとってはかなり新鮮で、本だけで話が膨らむのかと、驚きでもありました。本について考えるためのよい機会であったと思います。

皆さんも、カゴの中を好きな本や気になった本でいっぱいにして、本について考えてみませんか。

参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 白石 鈴音

『VISIONS : ILLUSTRATORS BOOK』

この本は、170名の第一線で活躍するイラストレーター達の合同作品集です。アニメのようなポップな絵柄から絵画のようなリアルな絵柄まで様々な作風の力作が見ごたえ抜群です。また、イラストを通じて自身の好みやアイデンティティの探求にもなります。イラストに興味がある方はぜひ読んでみてください。

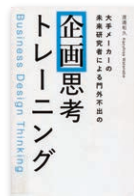
pixiv 監修
726.5/U82



『大手メーカーの未来研究者による 門外不出の企画思考トレーニング』

この本は、問題を発見した後のアイデアの組み立て方を教えてくれる一冊です。「冷蔵庫の思わぬライバルとは？」などの身近な例題39問をクイズ形式にしており、サクサクと読み進めることができます。ジャンルを問わず発想力や思考力を身につけたい方はぜひ読んでみてください。

渡邊和久 著
336.1/W46



美術科 2年 福田 晃平

『野菜ビジネス』

食べるのが好きな人から専門家まで楽しく読める野菜の教養ということで作られた本ですが、毎日当たり前野菜を食べる日本人において知って損はない知識、また、どのように私たちのもとに野菜が運ばれてくるのか、自分達が食べている野菜の現在の在り方について公平な立場で教えてくれます。

梅田みどり 著
626/U64



『アイデンティティのつくり方： 森山博暢, 各務太郎 著 自分とは何者なのか?』

SNSなどで日々発信される「いい部分だけが誇張された膨大な情報」は、より一層、自分にあった生き方が何かをわかりにくくさせていきます。そんな時代、自ら意思決定をしていくために読者が自身の力でアイデンティティをデザインするための方法を提示してくれます。



『へんなの』

芸人の国崎和也さんが執筆されたエッセイです。国崎さんの奇天烈で不思議な芸風のルーツが、少しでも垣間見えたような気がしました。アホらしさとどうしようもなさとのノスタルジーが入り混じった国崎さんの視点で見た世界を追体験させてもらえる温もりのある一冊です。

国崎和也 著
779.14/Ku47



『死にたくなったら電話して』

最初にタイトルを目にした際、依存し合う男女の恋愛小説なのかと思ひ、読むことを躊躇していました。しかし、実際に読み進めていくと徐々に惹き込まれ、あっという間に読み終えてしまいました。死にたくなったら電話して？くだらない！と思ったひねくれている方にこそおすすめしたい一冊です。

李龍徳 著
913.6/I11



国際総合学科 1年 大島 成龍

『近畿地方のある場所について』

この本は、今話題の「モキュメンタリー」系の本で、ジャンルはホラーです。僕はホラー好きですが、読み終わったあと1週間はこの本を引きずっていました。ホラーが苦手という人はもちろん、得意という人にもぜひ挑戦してみてください。新感覚の怖さを体験できます。

背筋 著
913.6/Se89



『一寸先の闇：澤村伊智怪談掌編集』

ホラーの短編集です。一話完結型の数ページの短編の集まりなので、ホラーが苦手とか、本を読むのが苦手だという人こそハマるだろうという本です。一話目からかなり飛ばしているのですが、最初の一話だけでも読んでみて欲しいです。いろんな角度からの怖さを味わえる本です。

澤村伊智 著
913.6/Sa95



国際総合学科 1年 松本 笑奈

『食の選び方大全』

スーパーに置いてある食品などが私達の元へ辿り着くまでのことが書かれている本です。今まで知らなかった食品の裏側を知ることができます。その知識を持って何を優先して食品を選ぶのかという自分なりの基準が得られる本だと思うので、ぜひ一度読んでみてください。

あるとむ 著；浜竹睦子 イラスト
498.5/A79



『20代から身につけたい お金が貯まる自炊ぐせ』

一人暮らしをしている方、始める方におすすめの本です。自炊が面倒に感じることもあると思いますが、この本の中に「楽しく自炊をするクセをつける方法を紹介していきます！」という文があるので、無理せず自炊＆節約の習慣を身につけることができるかもしれません。

mii 著
596/Mi18



情報コミュニケーション学科 1年 里見 優来

『しろいろの街の、その骨の体温の』

穏やかな日常の中で、突如衝撃を受ける体験を覚悟しながら読み進めてください。本作は思春期の心の成長と性の目覚めを描き、女子の複雑な人間関係や自己抑圧をリアルに表現しています。主人公が外の世界に踏み出し、傷つきながらも本当に大切な価値観を見つける姿に感動しました。

村田沙耶香 著
913.6/Mu59



『愛と心理療法』

精神科医が描く本作は、人生の困難に立ち向かう具体的な方法を示します。楽しみを後回しにすること、責任を引き受けること、真実に忠実であること、バランスをとることの四つが重要です。愛の厳しさを実感しつつ、精一杯挑戦していきたいと思わせる内容です。

M.スコット・ペック 著；氏原寛、矢野隆子 訳
146.8/P33



情報コミュニケーション学科 1年 向井 翔夢

『野村克也人間力』

この本は、野球界での成功を超えた人生の教訓が詰まった一冊です。野村さんがこれまでの人生の中での経験を通して、自分が人としてどうすれば成長することができるかを教えてください。読むと必ず自分の役に立つと思うのでぜひ読んでみてください。

野村克也 著
783.7/N95



『大学4年間のマーケティング見るだけノート』

この本は、マーケティングの基礎を短時間で理解できる視覚的ガイドブックです。豊富な図解と分かりやすい説明で、初心者から専門家までが役立つ知識を得られます。学習効率を高めるための必読書です。ぜひ読んでみてください。

平野敦士カール 監修
675/H66



情報コミュニケーション学科 1年 有森 由梨花

『アナログ』

この物語は、デザイナーの水嶋悟がみゆきという携帯を持たない女性と出会うことから始まります。連絡が取れないことで、会えない時のもどかしさが強くなり、常に互いに相手のことを想うようになるのではないのでしょうか。デジタルが当たり前の今こそ、読んで欲しい物語です。

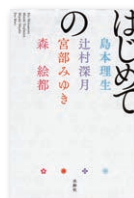
ビートたけし 著
913.6/B48



『はじめての』

4名の直木賞作家による書き下ろし小説です。また、YOASOBIとコラボレーションにより、物語が楽曲化されているため、物語と楽曲を比較しながら読むことができます。目だけではなく、耳でも物語を楽しむという、新しい本の読み方を体験してみませんか。

島本理生【ほか】 著
913.68/Sh38



こんな本が新しく入りました

2024年4月～2024年8月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介します

学科	図書ラベル	書名	学科	図書ラベル	書名
美術科	022.57/D69	美しいブックデザイン デザインノート編集部編集	音楽科	764.6/189	吹奏楽作品世界遺産100：後世に受け継がれゆく不朽の名曲たち 伊藤康英, 鈴木英史, 滝澤尚哉著
	022.8/Mi55	美篇堂とつくるはじめての手製本：製本屋さんが教える本のつくりかた 美篇堂著		B1.2/Kab/BoH	Sonatas for piano = ピアノのためのソナタ Dmitri Kabalevsky
	704/A81	モダニズムのハード・コア：現代美術 浅田彰, 岡崎乾二郎, 批評の地平 松浦寿夫共編		B3.2/Bey'F/Kun	Kadenzen zu Viola-Konzerten von Stamitz, Zelter und Hoffmeister Franz Beyer
	723.5/Ka88	Alex Katz : autumn Poem by Vincent Katz		B4.519/Sac'M/TP	The orchestral trumpet = オーケストラ・トランペット Michael Sachs
	740.1/B25	明るい部屋：写真についての覚書 ロラン・バルト[著]；花輪光訳		B7.1/Tch/AP	The nutcracker suite : for two pianos, four hands Peter Ilyich Tschaikowsky
	913.6/A58	アレクサンドロ・ヴァリニャーノ：日本に活字印刷を南蛮船でもたらした宣教師 青山敦夫著		B7.1/Tch/YM	The nutcracker suite, op.71a : piano, four-hands Tchaikovsky
	C/7935/1	洋楽渡来考：CD&DVD版[録音資料] 皆川達夫 監修・解説		C/7657/2024	2024年度全日本吹奏楽コンクール課題曲 参考演奏[録音資料]
国際総合学科	309.3/Sa25	マルクス解体：プロメテウスの夢とその先 斎藤幸平著；斎藤幸平[ほか]訳	情報コミュニケーション学科	007.63/Y86	マンガたった1日で即戦力になるExcelの教科書 吉田拳著；真蔵修平マンガ
	319.8/F68	「正しい戦争」は本当にあるのか 藤原帰一著		141.6/Ta11	「隠す」心理を科学する：人の嘘から動物のあざむきまで 太幡直也, 佐藤拓, 菊地史倫編著
	383.1/N98	世界服飾史のすべてがわかる本 能澤慧子監修		336.49/N37	仕事に差がつく気配りの教科書 中村由美著
	383.81/E34	日本食の文化：原始から現代に至る食のあゆみ 江原絢子編著；荒尾美代[ほか]著		699.21/Ta12	混沌時代の新・テレビ論：ここまで明かすか！テレビ業界の真実 田淵俊彦著
	645.7/Ma43	猫が歩いた近現代：化け猫が家族になるまで 真辺将之著		780/N38	図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント 中西純司, 松岡宏高編集
	811/Ko75	漢字とカタカナとひらがな：日本語表記の歴史 今野真二著		816.5/Y16	どんな試験にも対応可能な書き方が身につく万能小論文 柳生好之著
	778(W)/Ko	国際市場で逢いましょう[映像資料] ユン・ジェギョン 監督・脚本脚色		200/Ni/1	日本の戦後[映像資料]
図書館	002/I33	私たちはなぜ、学び続けるのか 池上彰著	図書館	493.937/N45	スマホを手放せない子どもたち 中山秀紀著
	146.1/Ku35	「推し」で心はみたまわれる？：21世紀の心理的充足のトレンド 熊代亨著		789.9/B25	シャーロック・ホームズの護身術バリツ：英国紳士がたしなむ幻の武術 エドワード・W.バートン＝ライト著
	281.04/O17	正解のない雑談：言葉にできないモヤモヤとの付き合い方 大平一枝著；石井ゆかり[ほか]述		801.04/Ma51	言語の力：「思考・価値観・感情」なぜ新しい言語を持つと世界が変わるのか？ ビオリカ・マリアン著；桜田直美訳
	367.9/Y95	ノンバイナリーがわかる本：heでもsheでもない、theyたちのこと エリス・ヤング著；上田勢子訳		913.6/A58	いつもの木曜日 青山美智子著

図書館職員注目の一冊

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』

三宅香帆 著
019.021/Mi76



仕事に疲れ、本を読む気にはならない。スキマ時間はついSNS見てたら終わってしまう。そんな現代人のあるあるを解説。日本人の「読書」の歴史を辿り、読書が大衆化した背景、その当時流行りの読書テーマなどとても興味深い一冊。読書の時間が取れる『半身の働き方』を目指しては？ (あなん)

『いい人すぎるよ図鑑』

明円卓, 佐々木日菜, 真子千絵美 著
049/Mu99



2023年に開催された企画展「いい人すぎるよ展」から生まれた、日常にひそむ100人のいい人を集めた図鑑。普段から何気なくしていることがいい人として認定されているかもしれません。こんないい人いたな～と気付けることがいい人への第一歩です。これからのあなたの行動はきっと誰かが見てくれています。(かたやま)

『小さな星だけど輝いている』

ソユン 著
929.14/So94



大人になった今でも心が疲れてしまう日や、頑張れないなあと思う一瞬があります。たくさんの方の言葉は知らないけど、その一瞬を少しでも照らしてくれる言葉が欲しい。そんな時にぜひ読んでほしい1冊です。きっと、優しく背中を押してくれるはずです。(とくまる)

『ばにらさま』

山本文緒 著
913.6/Y31



6つの短編が収録された作品ですが、なんと言ってもオススメは表題作の『ばにらさま』。冴えない会社員の主人公にできた彼女は、色白でかわいい女性。主人公と彼女の関係は傍から見れば良好に映るものの、物語が進むにつれて、段々と彼女の「影」が見え始め……。日常の裏に抱えられた心がありありと描かれた一作。(せんば)

AV視聴コーナーに行ってみよう♪

図書館には、CDやDVDを自由に視聴できる視聴覚コーナーがあります。
講義の合間や、待ち合わせ時間、ちょっとした息抜きにも、是非利用してください♪



DVDコーナー

CDは約8300点
DVDは約3300点
所蔵しています



CDコーナー

視聴覚資料（CD・DVD等）の利用方法

- ①視聴したい資料を各コーナーで1点選び、そのケースをカウンターへ御持ちください。
DVD等はAV視聴コーナーに、CDはCDコーナーに配架しています。
- ②カウンターで「視聴覚資料鑑賞申込書」に記入後、ディスクと視聴ブースの鍵とリモコンをお渡しします。
- ③AV視聴コーナーの指定されたブースで視聴してください。
※持ち込み資料を視聴することも可能です。カウンターでお申し出ください。
※DVD等は館外貸出できません。CDは貸出可能です。

映像資料もたくさん！



アニメも洋画も邦画も！話題作も豊富です♪
でも実は韓国ドラマが人気です★

CDの視聴もできます♪



★演奏会などの芸短関連の資料も
視聴できます☆



視聴ブース

本や楽譜などの資料の
購入リクエストはMyOPACの
購入希望 から受付しています！

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない
資料は購入を見合わせています。
まずはリクエストを送ってみてください！



ほん太

大分県立芸術文化短期大学附属図書館
図書館だより No.43

発行日 2024年10月25日発行
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
TEL・FAX (097) 545-4235
<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>
図書館キャラクターデザイン：若杉郁子